ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.174

発　行　日　　平成28年３月31日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,380名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

地域包括ケアシステムが住民にもたらすもの そしてわれわれがなすべきこと

（公社）新潟県理学療法士会
副会長　**中　山　裕　子**

アキエさん（仮名）は86歳、大腿骨骨折で入院して６か月経過しています。術後心不全を合併し全身状態が低下してしまい経口摂取ができない時期がありましたが、そんな状況を乗り越え現在に至っています。最も状態が悪かった時期を脱した直後は、生きていることに否定的な発言が多く聞かれていました。しばらく経過したある日、アキエさんの顔を見て気が付きました。なんだか頬のあたりがふっくらしているし、そういえば移乗の介助が前より重くなったなぁと。

アキエさんにきいてみました。

－ごはんは食べられるようになりましたか？

－あぁ、ごはんもおかずも全部食べれる。おいしいんだてぇ。死にたいってばっかり言ってたのにおかしいねぇ。

アキエさんにとっては、生きていることに対して否定的な感情も偽らざる気持ちでしょうし、食事をおいしく食べられることも事実です。そのことが矛盾していることもよく認識していらっしゃいます。私はどこかで目にした「人は生きている限り生きなければならない」という言葉を思い出します。これは私自身の父が生前自宅療養をしている際もよく頭に浮んだ言葉です。

国が定義した「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように」とした地域包括ケアシステムは、住民に最期をどこで迎えるかということを考えさせるきっかけをもたらします。一方で、われわれ理学療法士はこのシステムの中で個別会議や退院後のリハビ

目　　次

地域包括ケアシステムが住民にもたらすもの そしてわれわれがなすべきこと…… 1
職場紹介…… 3
研修会参加記…… 5
リレーエッセイ…… 6
平成27年度第４回理事会議事録 …… 7
2016年第６回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・新潟における健診プログラム活動報告 … 8
学術局学会研修会だより…… 9
事務局ニュース…… 10
理学療法士（常勤）募集…… 12
定例郵送物の発送について…… 12
編集後記…… 12

リテーションケアに積極的に関与しなければなりませんし、さらには介護予防においても重要な部分を担ってゆかなければならないと考えます。そして、このことが私たち理学療法士の将来の発展においても必要な点であると考えています。

ある行政の住民に対する「あなたが最期を迎えたい場所は？」というアンケート調査によれば、「自宅」が46.3％と最も多く、「病院」20.2％、「施設」3.3％という結果となりました。特筆すべきは、「わからない」が22.6％と自宅に次いで多いということです。さまざまな事情から本人の希望通りにならないケースや、将来の展望が描けないということが背景にあると思われます。また、他の推計によると国民の死亡場所は、2030年の段階で医療施設が約89万人と現在と変わらず、自宅は20万人で現在の1.5倍、施設が10万人と2倍に、その他（予測不能）が47万人とされています。

アキエさんは、その後回復され、全介助状態ではあるものの部分的には介助量の減少がみられるようになり、退院調整が始まりました。入院前は寝たきりに近い状況でショートステイを利用しながら娘さんの全面的介助で自宅生活をされていました。

私はまたアキエさんにききます。

－そろそろウチに帰りたい？

－いいや、病院においてもらえれば一番安心だて。だから、看護婦さんのゆうことよーくきくように、娘に言われてんだぁ。

国が目指す地域包括ケアシステムは、日本独特の家族関係および世帯構成、家族というものへの意識、経済的背景が数十年前とは変化してしまった今の時代と一部乖離があることは否めません。しかし、このシステムの推進のためには、われわれ理学療法士はまず、目の前の患者さんや対象者さんへ精一杯のサービスを提供しながら、今の社会に役立つことのできる社会人に個々が成長してゆかなければなりませんし、その先には、地域へ関わる機会や時間を創り出してゆく必要があると思います。新潟県士会としても皆様と共にこれからも歩みつつ、さらに行政機関と連携を図りシステム構築の一翼を担ってゆきたいと考えています。ご協力をお願い申し上げます。

義肢・装具・介護用品の
ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。
社団法人 日本義肢協会登録・中部125号
㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21－11
TEL 025-281-0303
FAX 025-281-0339

新潟労災病院

当院は直江津駅から徒歩５分と非常に利便性の良いところにあります。

昭和33年に内科、外科、整形外科の３診療科、病床数112床をもって開院しました。当時は床高総２階でしたが現在では建て替えられ７階建て病床数は360床となっており、地域医療支援病院として地域の医療機関と連携し急性期医療を提供しています。

最上階７階からの眺望は息をのむほど素晴らしく、眼下には１級河川の関川が悠々と流れ多くの鳥たちが戯れ羽を休めています。遠く南に目をやれば2500ｍ級の妙高山、火打山、焼山の頸城三山の雄姿が、北に目をやれば端から端まで日本海が広がり天気の良い日にはその水平線上に佐渡島を見ることができます。訓練室は１階にあり、総面積は1135㎡と広々としています。屋外には訓練場、花壇、ミニ菜園などがあり四季折々の風景に患者様やスタッフは心癒されています。開院時は３名で物療科としてスタートし現在では中央リハビリテーション部としてPT8名、OT5名、ST2名、助手１名、受付１名の総勢17名体制となっています。若手からベテラン・ベテラン・ベテランまで切れ目なくそろっています。

対象者はおおよそ整形外科疾患60％、脳神経外科疾患30％、内部障害10％となっています。H26年５月に電子カルテ導入、同10月から回復期病棟を開棟し、H27年９月にはがんのリハビリテーションを開始しました。また勤労者医療として腰痛予防や治療就労両立支援にも力を入れています。当部の最も誇れるものは仲の良さです。風通しが良く激務の中でもお互い切磋琢磨できる風土がここにはあります。飲みニケーションや年１回の旅ニケーションもあり良き昭和の“かをり”もするかも。これからも『和』を大切にし、より良いリハ医療を提供できるよう研鑽を積んでまいります。

医療法人健周会　東新潟病院

当院は昭和54年に設立され、医療・医療療養・介護を担う地域の病院として親しまれてきました。新潟市中央区のはずれに位置し、南イオン、ビッグスワンが良く見え、バイパス脇の交通にも便利な立地です。

リハビリテーション科はPT7名、OT3名、ST2名が所属し、老健・訪問を含めて慢性疾患が主となる患者様へのリハビリを業務としています。平成25年の秋に新棟の一部がリニューアルオープンし、スタッフ共々心機一転張り切っています。高齢者やベッドサイドリハが多く占める状況で、又、時には終末期を意識しながらの日々ですが、患者様や多職種のスタッフと笑顔で誠心誠意努めています。ADL・QOLを高めることは困難でも毎日少しでも関わりを持つよう心掛け、患者様・ご家族様と一緒に良い関係を築いていけるよう切磋琢磨の思いです。

今後も地域の役割を果たせるよう、患者様やご家族様にご満足頂けるようスタッフ一同努力して参ります。

学会・研修会参加記

【第24回新潟県理学療法士学会】

桑名病院　リハビリテーション部
浅野　陽子

平成27年12月5、6日に行われた、第24回新潟県理学療法士学会で『歩行自立獲得を運動学習の視点から考察した一症例』という演題で発表させていただきました。

学会での発表は初めてで、テーマ選び、抄録作成、発表資料の作成と苦労しましたが、興味のあった運動学習について、これを機に時間を掛けて勉強することができたことは自分にとって大きなプラスとなりました。また、日々の臨床の場面で、評価や記録を残すことの大切さを改めて感じました。今回は写真や動画としての記録を残しておらず、見やすい発表資料を作成できなかったことが特に反省点として残りました。

今回発表させていただき、自分の考察では不十分であった点、別の視点もご指摘いただき、今後の臨床において考える幅が広がったように思います。自分の考えをアウトプットすることの重要性を再認識でき、今後も常に意識して自分の考えを表出する機会を持てたら、と思いました。

福祉・労災指定　各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器一般・介護保険レンタル・介護住宅リフォーム相談
㈱ G・T・B（オーエックス新越）
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp/

D.M.S ㈱デムス
住宅機器・福祉器具・障害器具等販売
NISSINの車椅子
メーカー直　PARAMOUNTのベッド
エンゼルの看護用品
〒940-0056 長岡市呉服町2-2-15　TEL 0258-35-5915

Hi! 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園2-2-7
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http://www.hi-college.ac.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025) 223-3630
FAX (025) 222-2750

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票　発送代行　ラベル・シール　WEB・デジタル
本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL (025) 381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで http://www.takayoshi.co.jp

水治療法機器　運動療法機器　作業療法機器
電気療法機器　入浴装置　ADL用品
KMK 源川医科器械㈱
本社 新潟市中央区東中通2番町279番地 ☎(025) 229-7766
長岡営業所 長岡市稲保4丁目720番6号 ☎(0258) 22-6711
上越営業所 上越市春日山町3-18-54 ☎(025) 525-2521

リレーエッセイ 1

植物との暮らし

新潟臨港病院　リハビリテーション科　**本　間　大　介**

最近植物に関する言葉を多く耳にします。ユニークな植物を意味するビザールプランツや植物のある暮らしを意味するボタニカルライフ、グリーン男子なども植物に関する言葉でしょう。そんな私は昨年の9月頃から植物にどはまりしております。そうです、グリーン男子です。現在育てている植物は南アフリカやメキシコ、マダガスカルなど様々な国で生まれた植物で、それらが狭いアパートで身を寄せ合って暮らしています。もちろん新潟と気候が違う国からきているものばかりなので、育成には気を使いますが、それぞれの形や色などにとても魅力を感じています。現在この厳しい新潟の冬を乗り越えられるか検証しているところで、暖かくなる春がとても待ち遠しいです。きっとすくすく成長してくれると思います。

次は新潟リハビリテーション病院の内藤翼君です。よろしくお願いします。

リレーエッセイ 2

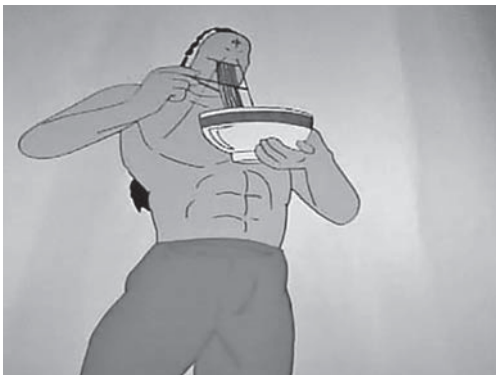
『麺！！』

医療法人愛広会　中条愛広苑　**土　橋　　玄**

私はラーメンが好きです！最近は様々な雑誌などでラーメン特集を組まれるようになりましたね。そこで今回は私がオススメするラーメン店を2つ紹介します。

ひとつは新潟市秋葉区にある『有楽』の、もやしラーメンです。シンプルなラーメンの上にもやしなど野菜のあんかけが乗っていて、とても優しい味です。学生の頃は毎年年末に有楽さんでラーメン食べ納めをするのが恒例行事でした！

もうひとつは新発田市五十公野にある『ちゅんり』です。ここは何といってもおもてなし！店に入り待ち構えていたのは、少し強面だけど笑顔が素敵な男性店員さん（店長さん!?）、お母さんのように優しい女性店員さん（奥さん!?）、そして、なんといっても2台の空気清浄機．．．！おいしいラーメンはもちろんですが、食べる前にガッチリ心を掴まれてしまいました。ぜひ一度行ってみてはいかがでしょうか？



次は私の高校野球部の同級生でもある、県立新発田病院の曽我崇大君です！

学術局学会研修会だより

学術局担当　**髙　鳥　　真**

会員の皆様には平素より学会・研修会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新年度がはじまり慌ただしくお過ごしのことと存じます。

第25回新潟県理学療法士学会準備委員会が始動しました。

【準備委員会】

大　会　長　大竹　　朗（上越地域医療センター病院）
準備委員長　澤田小夜子（新潟労災病院）
準 備 委 員　小山　英央（上越地域医療センター病院）
ニノ倉寿弘（新潟労災病院）
猪爪　一也（厚生連上越総合病院）
藤澤　明彦（県立中央病院）
田中万由季（介護老人保健施設国府の里）

以上、７名の準備委員を中心に鋭意準備を進めているところです。会員の皆様におかれましては、運営の手伝いなどの要請があった場合には、積極的にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年度研修会予定は下記の通りです。最新の情報につきましては、県士会HPをご確認ください。

平成28年度県士会主催研修会予定　（詳細につきましては、県士会HPでご確認ください）

月　日	内　容	講　師	会　場
5月15日（日）	スポーツ活動支援部研修会 「スポーツ分野における腰痛への対処と予防」	成田　蒿矢　先生	未定
6月19日（日）	第97回研修会・総会同時開催 「姿勢・歩行制御と運動器理学療法」	建内　宏重　先生	未定
7月24日（日）	第29回技術研修会 「高齢者への運動処方について～フレイル対策とリスク管理～」	高橋　哲也　先生	未定
8月28日（日）	新人研修会A1～A5	理　事	新潟医療福祉大学
9月24日（土） ～25日（日） 二日間開催	理学療法士講習会基本編技術 「動作分析　～表面筋電図を用いた多関節運動連鎖における筋の質的機能評価～」	加藤　浩　先生	看護リハビリ新潟 保健医療専門学校
11月12日（土） 13日（日）	第25回県学会 学会テーマ「理学療法の専門性と可能性」	調整中	ユートピアくびき希望館

（２月　現在）

☆研修会申込み後のキャンセルについて
キャンセル専用のアドレスを開設しました。

以前から見受けられることですが、研修会当日のキャンセルが目立ちます。いわゆるドタキャンです。とくに技術研修会など定員を設定している研修会につきましては、定員割れになることもあり会計的に負担になることがあります。また、受講をお断りしている方々にも迷惑になります。申込みに際しては、よく検討した上でお申込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。 ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

○学会研修会関連のお問い合せ
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

○生涯学習関連のお問い合せ
桑名病院　　田中　健
E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合せ
新潟リハビリテーション病院　　立石　学
E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合せ
晴陵リハビリテーション学院　　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

理学療法士（常勤）募集

整形外科・皮膚科　しまがきクリニック

住　　所：新潟市西蒲区巻甲 4647-1
電　　話：0256-73-1312　　Fax：0256-73-3580
募集人員：２名
業務内容：外来患者のリハビリテーション
整形外科全般の保存療法を中心に
小中学校・高校・大学，社会人までのスポーツリハや、人工膝関節を中心に、肩・股関節等の術後患者まで病院とも連携しながら幅広く対応しています。
業務時間：8:30 ～ 18:30（昼休みは 12:30 ～ 14:45 でその間、時間外業務可能）
休　　日：木・土曜日午後、日曜日、祝祭日、お盆、年末年始
給　　与：当院規定による　　賞与：年２回
福利厚生：各種社会保険制度、有給休暇、育児休業制度などあり
そ の 他：現在４人の理学療法士が勤務していますが、外来患者が多く、また対象疾患の多さから、より多くの理学療法士を必要としています。見学は随時受け付けております。お電話でお問い合せください。
問い合せ先：担当：塩崎卓郎　0256-73-1312

定例郵送物の発送について

現在、県士会では会員への発送文書がある月に限り、会員へ封書を発送しております。これには、協会をはじめ県士会の活動に関係性の強い他団体からの広報および県士会会員が主催または責任者等を務める県内開催の勉強会・研修会の広報も同封しております。

これまで、県士会会員の勉強会・研修会の広報文書についてA4片面1枚まで県士会事務所で印刷することがありました。しかし、大変恐縮ながらH28年度につきましては原則的に事務所での印刷を見合わせたく存じます。定例郵送物への同封をご希望の方は、県士会事務所へ必要部数をご送付くださいますようお願い申し上げます。

なお、ホームページや学会研修会部の勉強会支援制度による助成もありますのでご活用ください。

お問い合せ：（公社）新潟県理学療法士会　事務所
〒950-0912　新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電話：025-250-7660　FAX：025-250-7661

編集後記

平成28年がはや３ヶ月過ぎようとしています。ゆきわり草No.174が皆様のお手元に届くころには、新人の理学療法士さんも入職されることでしょう。診療報酬の改定もあり、多忙な日々が続いているかと推察しますが、月日が経つのはあっという間です。忙しさに惑わされず、充実した日々を過ごしていきたいものですね。　（Y）

ゆきわり草　No.174
編集責任者　松　林　義　人

問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp